



# 104

第43号 2023年1月1日

## 小田警二でした！

2023年、賑わいが戻った渋谷スクランブル交差点付近のカウン  
トダウンは、約7割が外国人でし  
が、酒類の制限や人の流れのコン  
ロールなどが徹底され、穏やかな  
明けとなりました。

平穏な一年を願いますが、治安情  
勢で不安があります。コロナ禍で、  
諸外国の犯罪が大幅に増えてい  
も、わが国は、刑法犯認知件数が最  
低を記録する程の安全な国として  
知られていました。しかし昨年は、  
過去20年間減り続けてきた犯罪  
が、増えました。(刑法犯認知件数  
1月〜11月…2021年52万1  
044件、2022年54万988  
4件…警察庁)

気になるのは、気を付けていれば  
遭わないで済む街頭犯罪、たとえ  
自転車盗やひったくり、窃盗の増  
加です。茹で蛙のように安全につ  
鈍感にならないよう気を引き締め  
て、活動や生活に臨んでいきたい  
願います。同時に減る様子のない  
特殊詐欺やサイバー犯罪などの非  
対面型犯罪には、引き続き注意を  
促していきます。

G A Jでは、昨年の活動のテーマ  
を「声なきに聴き、形なきに視る」  
と挙げました。事件や事故が報道  
されると、人の力で防ぎようがない  
事もありますが、「もし」人の目があ  
れば、「もし」知っていたらと、残  
念に思う例が多くあります。

年頭にあたり今一度、我が身を振



り返り、活動時のみならず普段の  
生活にG Aの得意とする「スキヤ  
ン&アクション」を活かしている  
かと、問いかけていただきたいと  
願います。

そして最も効果的な防犯活動と  
は、「姿を見せる」ことです。昨年  
末に小島裕史警視総監が、年末年  
始の特別警戒で新宿歌舞伎町を、  
警察官と地域の防犯ボランティア  
と共に視察し、大きな話題となり  
ました。姿を見せることは、確実  
に人々に安心感を与え、犯罪の抑  
止になります。

本年は、G A Jの目指す一歩踏  
み込んだ質の高い活動のために、  
正確に見る「観察力」、異変に気付  
く「察知力」そして臨機応変な「対  
応力」を磨いていきます。

同時に、声を挙げにくい立場に  
ある人でも、誰かに伝えられるよ  
うに、G A Jでは、「シグナル・フ  
ォー・ヘルプ」プログラムの啓発  
運動を広めます。

感染症の流行によりこの3年  
間、私たちは何が必要で、何が必  
要でないかと考える機会を与えら  
れました。オンライン会議のよう  
に合理化の流れができました。そ  
うは言っても実際に人と会う「ぬ  
くもり」も、生きるための栄養と  
して大切なことだと再認識いたし  
ました。

G A Jは、人やまちの安全と  
人々の心に安心感を与える活動  
で、まちからは決して無くしては  
いけない活動だと確信していま  
す。

犯罪が、微増している今日、私  
たちの真価が試される時です。  
メンバー一丸となり活動に真剣に  
取り組んでまいりましょう。  
混沌としていく社会情勢です  
が、世のため人のため、役立つこ  
とが目の前にあるG A Jを有難い  
と思えます。(おだ・けいじ)

## エンジェル・オフ・ザ・イヤ ー 草加支部 カラー



草加支部が設  
立された200  
8年4月。次女  
(現在Jrメン  
バー、ラブ)が産  
声を上げた年に  
私はメンバーと  
なりました。

支部設立の前  
から市役所の防犯担当職員として  
関わり、間近でG Aの活動を見聞き  
する立場にあり、共に支部設立を目  
指した同志はもちろんのこと、本部  
や近隣支部メンバーの真摯な姿勢、  
紳士的で誠意ある対応、たゆまぬ努  
力と研鑽を重ねる姿に胸を打たれ  
公務の枠を超えメンバーに加えさ  
せていただきました。

当時の川口支部長デヴィやジョ  
ニーには設立1年近く前から毎週、  
草加にお越しいただき、埼玉県本部  
としてローズやリック、さいたま支  
部の青龍やウルトラからもたくさ  
ん指導いただきました。支部設立前  
の準備期間は、今も私の活動の礎と  
なっています。

支部設立2年目には、草加支部で  
最年少の身ながら支部長を務めさ  
せていただきました。支部長就任時  
は支部の運営に悩み、デヴィやロー  
ズに相談する日々。見識や活動のノ  
ウハウが不足していた経験値を補  
うべく、他支部にも足を運ぶ努力を  
できる限り怠らないようにしまし  
た。活動における緊張感と緊迫感の  
中、支部の安定的な運営を気にか  
けながらの毎日は、精神的に大きな負  
担となりましたが、学びと自らの成  
長の喜びに加え、日々の充実感を得  
られるG Aの活動は何よりも得難  
いものでもありました。そして、カ  
ラーズの袖を通せば、互いを敬い尊  
重し合うことのできる活動・運営

スタイルの魅力に引き込まれてい  
きました。

草加のまちは、支部設立当時、  
夜9時にもなると暴力団風の集団  
が駅前でサツカーをするような状  
況にまで治安が悪化しており、駅  
前を避け帰宅の途に着くのが日常  
の風景でした。今でも忘れられな  
いのは設立1年目2008年の年  
末の事案。終電後のタクシー待ち  
行列の前で馬乗りになって血みど  
ろになりながら喧嘩している刺青  
の入った男性の集団に遭遇したと  
きでした。喧嘩を観ている方は3  
0人以上いたと思います。ただ  
見ているだけ。警察に通報してい  
る人すらいなくて、大変悲しい気  
持ちになったことを覚えていま  
す。「二度とあの時のような悲し  
い気持ちにはなりたくない」との  
思いから、草加のまちを温もりの  
あるまちに少しでもしていこう  
と、できることをコツコツと継続  
しているつもりです。

コードネームの「カラー」はG  
Aメンバーをはじめ、出会う方一  
人ひとりから学びを得られるよう  
に、どんな色にでも染まれるよう  
にとの思いで名付けました。これ  
からも、まちの風景に彩りを加え  
ることのできるよう精進を重ねた  
と思います。



草加市成人式のサポート



ご無沙汰しています、ショーンです。G A Jに関わり今年で11年となりました。東日本大震災があった年で、大川興業の大川総裁と一緒に南三陸ほか被災地への物資を届けに行ったのを昨日の事のように覚えてます。この11年間、大学との両立やコロナ禍では実家北海道に帰りリモートをしながら母親の介護などフレキシブルに働かせていただきました。昨年末に闘病生活の末、母親が亡くなったこともあり今夏転職をいたしました。

首都圏を始め、遠方では松山や北九州福岡支部の活動にも何度か参加する機会があり、またアメリカのシカゴやマディソン支部での活動にも参加して色々な都市に訪れる事ができました。街頭、パトロールやイベント等、お世話になった皆さんにお礼申し上げるとともに、これから一ボランティアメンバーとして防犯パトロール始めG A Jの活動に参加して行けたらと考えていますので、今後ともよろしくお願いたします。

街を歩いていると「ガーディアン・エンジェルズだ」という声を聞いたり、また、六本木や渋谷などでは海外の観光客はG Aの事を知っている人たちを良く見かけます。街頭でトラブルがあると通行人があつちでトラブルがあると知らせてくれる人たちがいますが、G Aの事を知っている人たちは結構いるものだと感じます。しかしながら、G Aを知らない若い世代の方々も沢山いますので、引き続き

きコツコツと街に出て露出を増やしG Aの活動を知ってもらえるよう続けていきたいと思ってるのと、タイミングがあれば北海道から九州まで全国各地の支部を回り街頭、パトロールの活動に出たいと思っています。

G Aの活動はボランティアとしては珍しく防犯を目的に置いています。ボランティアで調べても防犯と言うカテゴリーは中々見つける事ができないはずで、最も近いところで地域街づくりであり、防犯を通じて街づくりして行くことが目的です。犯罪が発生しない事が一番であり、何事もなく無事に怪我なく終わる事が良い反面、結果がカタチとして見えるわけではありません。故に、特に若い世代の人たちはモチベーションの維持が辛く続けれらるよう今後はフオローしていければと思っておりますので宜しくお願いいたします。

メンバー紹介  
東京支部 クオーレ & ライム

令和3年の入会以来、精力的に活動されている2人の若手メンバーにお話をうかがいました。

Q. 入会の動機は何ですか？

クオーレ「いろんな人と関わりたいと思っていて、そこから防犯パトロールのボランティアに興味を持ったことがきっかけです。」

ライム「高校生の頃から、防犯活動をし



原宿表参道パトロール  
クオーレ (中央)

ているG Aに興味がありました。個人でできる範囲の防犯活動を続けてきましたが、より活動範囲を広めたいと思い、入会しました。」

Q. 約1年間活動されて感想は？

クオーレ「メンバーのコミュニケーションスキルやパトロール中の街の見方など、毎回刺激を受けています。私自身も街に慣れることから始まって、声かけをできるようになったのでこれからは自信を持ってできることが増えていければと思います。」

ライム「メンバーから温かく迎えていただき、アドバイスやサポートをいただきながら、自分なりに考えて行動出来たと思います。目線だけでなく心の持ち様などの視野が広がったと思います。」



六本木安全安心プロジェクト  
ライム

Q. 活動を通して街を見てきて、街の変化などありますか？

クオーレ「コロナの影響か、思ったよりも人が少なく感じていましたが、最近外国人人も含め、人が増えてきて、活気が出てきたと思います。」

ライム「G Aで活動してきて、街の様子、建物やお店、公園や公衆トイレなど、変わったことに気づきます。特に人と人との距離感に感じており、コミュニケーションをとる際には注意しています。」

Q. これからの抱負、希望はありますか？

クオーレ「いろんな人とコミュニケーションをとり、困っているような人がいたら積極的に声をかけて、役に立てればと思います。」

ライム「G Aのメンバーは支部、地域により特色があると思いますが、皆見ている方向は同じだと思います。私も同様の視線で、より多く街の人たちにG Aの姿を見せていく活動を続けていきたいと考えています。」

お2人とも、これからも益々スキルアップされて、ご活躍を期待しています。

10-4 事務局だより

2022年の事務局の最大な話題といえば、やはりショーンの退職です。

私グラムとともに2011年にFKで働きはじめ、事務局内の仕事だけでなく、都内その他、遠方までイベントサポートした。そうした経験を積み、代表の指導者としても、代表を務める機会もありません。

事務局としてはたいへん大きな戦力を失うことになりましたが、個人的には新たな成長が見込めることと、GAの1メンバーとして、今後もますます活躍が期待できると、お互いに良かったことだと思います。

(事務局長グラム)

ご寄附のお願い  
皆さまからの応援を  
お待ちしております

三菱UFJ銀行 赤坂支店  
普通口座 5190124

または

ゆうちょ銀行振替口座  
普通口座 00130-9-549237

口座名義：特定非営利活動法人  
日本ガーディアン・エンジェルズ

